

## 第1学年保健体育科（体育分野）学習指導案

日 時：令和4年7月6日（水）5時間目

対象学級：二戸市立金田一中学校 1年A組

（男子16名 女子13名 計29名）

指導者：金野華子

- 1 単元名 運動やスポーツの多様性
- 2 内容のまとめり 第1学年及び第2学年 H 体育理論
- 3 単元の目標
  - (1) 運動やスポーツが多様であることについて、理解できるようにする。「知識及び技能」
  - (2) 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。「思考力、判断力、表現力等」
  - (3) 運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。「学びに向かう力、人間性等」
- 4 単元について
  - (1) 生徒について

ア 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査生徒調査票の質問紙調査を1学年の生徒に実施した。主な質問項目の結果は以下の通りである。

質問項目	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
1 運動やスポーツをすることは好きですか。	48% (14人)	45% (13人)	3% (1人)	3% (1人)
2 あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか。	59% (17人)	38% (11人)	3% (1人)	0% (0人)
3 中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。	45% (13人)	41% (12人)	14% (4人)	0% (0人)
17 保健体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。	59% (17人)	41% (12人)	0% (0人)	0% (0人)

イ 質問項目1の肯定回答は93%、質問項目2の肯定回答率は97%と運動やスポーツへの興味・関心が高いことが分かった。また、質問項目3の肯定回答率は86%と将来運動やスポーツをすることに前向きな考えを持っている生徒も多いことが分かった。

ウ 保健体育の授業では、体を動かすことや仲間とスポーツを楽しむ生徒が多く見られる。運動やスポーツの多様性を学ぶことによって、今後も継続していこうとする意欲につなげ、保健体育の学習が自身の生活を健康で明るいものにする要素になっていることに気づく生徒をさらに増やしたい。

### (2) 教材について

本教材は、体育分野における運動の実践や保健分野との関連を図りつつ、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するため、第1学年では、運動やスポーツの多様性を、第2学年では、運動やスポーツの効果と学び方を、第3学年では文化としてのスポーツの意義を中心に構成されている。

これらの内容は、主に、中学校期における運動やスポーツの合理的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となる運動やスポーツに関する科学的知識等を中心に示されている。

これらの内容について学習したことを基に、思考し、判断し、表現する活動を通して、体育の見方・考え方を育み、現在及び将来における自己の適性等に応じた運動やスポーツとの多様な関わり方を見つけることができるようにすることを大切にしている教材である。

### (3) 指導について

本単元の指導にあたっては、運動やスポーツに関心が高い生徒にも、そうでない生徒にも、写真や映像などの教材を工夫することで、運動やスポーツが多様であることについて理解させたい。また、話し合い活動で様々な意見や考えを交流させ、その中から運動やスポーツが多様であることについて自分なりに考え、仲間に伝える場面を設定したい。さらに、生徒が興味・関心をもっているオリンピック・パラリンピックの内容を扱ったり、運動会などの経験を振り返ったりして、学習に積極的に取り組ませたい。

スポーツの多様な楽しみ方については、「する」の観点を中心にして授業を展開し、自己に適した生涯における運動やスポーツへの楽しみ方を考えさせることで、保健体育科の目標である豊かなスポーツライフの実現へとつなげていきたい。

### (4) 校内研究との関わり

- ①生徒が自分で調べたことや考えたことを、わかりやすく文章に書く指導の研究
  - ・発問に対して自分の考えをペアやグループ内で交わす場面の設定
  - ・見本となる生徒の「分かりやすい文章」の共有
- ②生徒自身が、学習の成果を実感できる振り返りの研究
  - ・視点を与えた振り返りによる学習内容の理解の深まり
  - ・振り返りの内容の共有とそれを活かした授業づくり
- ③生徒の間違いを認める雰囲気を作り、その中で授業を進める工夫
  - ・生徒の発言を大切にされた授業展開
  - ・生徒が思考・判断したことを主体的に発表できる場面の設定

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や競技に応じた力を試したり、記録等を達成したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生み出されてきたことを、言ったり書いたりしている。</p> <p>②運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの多様な楽しみ方を見つけたり、工夫したりすることが大切であることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>・習得した知識を活用して、運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。</p>	<p>・運動やスポーツが多様であることを理解することや、意見交換や学習ノートの記述などの、思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに積極的に取り組んでいる。</p>

## 6 指導と評価の計画（3時間）

時	主な学習活動	知	思	態	評価方法	備考 研究との 関わり (丸数字)
1	・運動やスポーツの必要性と楽しさを理解する。 ・運動やスポーツの必要性と楽しさの学習に積極的に取り組む。	①		○	知：問答 学習ノート 態：問答、観察 学習ノート	①
2	・運動やスポーツへの多様な関わり方を理解する。 ・運動やスポーツへの多様な関わり方について、スポーツイベントにどのように関わるか考える。	②	○		知：問答 学習ノート 思：問答 学習ノート	②
本時 3	・運動やスポーツの多様な楽しみ方を理解する。	③			知：問答 学習ノート	③

## 7 本時の指導（3時間目/全3時間）

### （1）目標

- ・世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを、理解することができる。

### 【知識】

### （2）展開

段階	学習活動	指導上の留意点	研究との関わり（丸数字）・評価 (◇)
導入	1 既習事項の確認、前時までの学びを想起する。  2 運動やスポーツをどのように楽しんでいたか、自己の経験を振り返る。  3 学習課題の提示	・運動やスポーツの楽しさについて確認する。 ・多様な関わり方の中の「する」に焦点を当てる。  ・生徒が自分のこととして考えられるように、教師自身の経験を示す。	③生徒の発言を大切にした授業展開
7分	<b>運動やスポーツには、どのような楽しみ方があるでしょうか。</b>		
展開	4 多様な楽しみ方を3つのグループに分類する。  5 資料を活用して、運動やスポーツの多様な楽しみ方を整理する。	・写真を提示し、同じ運動やスポーツでも多様な目的や楽しみ方があることなどを確認する。	

